

くすの木

令和3年度
美浜町立和田小学校 学校だより
令和4年2月25日 NO.37

早いもので、2月ももうすぐ終わりです。6年生は、「卒業」の2文字が本当に目の前に迫ってきました。残りの日々をしっかりと過ごして、和田小学校に学んだ足跡を残してほしいと願います。

今後、全校児童が参加する予定の行事は、3月14日（月）のお別れ遠足（吉原運動公園）と17日（木）に予定されている6年生を送る会です。お別れ遠足は、6年生がリーダーシップをとる最後の機会です。良い思い出になることを期待しています。6年生を送る会は、新たなリーダーとなる5年生が初めて企画する行事です。これまで本校の卒業生たちが築いてきた校風を6年生から引き継ぎ、さらに深化させていってくれることを信じています。

学校長



※
24日（木）の
休み。運動場と
図書室にて。

冬用体操服について

先日、冬用体操服についてご案内したところ、大勢の方が購入に来てくださいました。そのため、現在学校にも指定業者にも在庫が不足しております。取り急ぎ、発注をかけているところです。

品物が届き次第、ご連絡いたしますので、しばらくお待ちいただけますよう、お願いいたします。

第3回学校運営協議会

18日（金）、第3回学校運営協議会を開きました。

コロナ感染防止のため、今回は委員全員が集まることは避け、事前に配付した資料を読んでいただきご意見を頂戴しました。18日には会長の様方にお越しいただき、いただいたご意見について検討しました。

ご意見の主なものは、以下の通りです。

- スクールプランを基本に、新型コロナウイルス感染症対策の中で、よく頑張ってくれたと思います。
- 小学校の6年間の間に、体型、体力、考え方等が急速に成長していくので、教える側の思惑通りに進まないことも多々あると思いますが、和田小学校の児童は全体に頑張っていると感じています。
- コミュニケーション能力の育成についても、あらゆる機会を通して指導していただけたと思います。
- コミュニケーション能力等対話の必要な事柄については、今後も工夫する必要があると思います。
- 自分の言葉で発表できる児童の少ないことが少し気になります。
- 学校が目指す指針を保護者、住民に理解してもらう機会の場を幾度か設けることが大事。
- 地域の人たちとの関わりが大きいのは小中学生のうちだと思うので、コロナ禍でなかなか様々な行事は実施しにくいと思いますが、できるだけ工夫して維持できるよう願っています。
- 主体的・対話的で深い学びという項目を、このコロナ禍の中でいかにして実現させてゆくか十分考えていただきたい。
- GIGAスクール等デジタル機材を活用した授業が今後益々一般化していくと思います。先生も大変だと思いますが、宜しくお願いします。

委員の皆様、一年間のご指導ご鞭撻、誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

評価テスト(5年)

24日（木）、5年生が「評価テスト」に挑みました。これは、子供たちの学力の定着状況をきめ細かく把握し、今後の授業改善や個に応じた指導を充実させ、学習した内容の定着を図ることを目的に、県教育委員会が実施しているものです。

5年生は、国語、算数、理科の3教科のテストを受けました。3時間連続のテストはしんどかったと思いますが、子どもたちはよくがんばっていました。

今回のテストの結果を分析して子どもたちの学力の実態を把握し、3学期残りの期間や春休みの課題、さらに新年度の指導についての方策を考えていきます。



※評価テストを受ける5年生。